

平成 30 年度第 2 回古賀市スポーツ推進審議会 会議録
(要約筆記)

【会議の名称】 平成 30 年度第 2 回古賀市スポーツ推進審議会

【日時・場所】 平成 30 年 8 月 31 日(金) 18:30 ～ 20:30
リーパスプラザこが交流館 302 会議室

【主な議題】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名
6. 概要説明及び議事
(1) 第 1 次スポーツ振興基本計画の総括(案)について
(2) 第 1 次古賀市スポーツ振興基本計画(取組の現状と課題等)について
(3) 部会での審議
7. その他
8. 閉会

【傍聴者数】 0 人

【出席委員等の氏名】

委員: 木下忠委員、吉永春男委員、本多壮太郎委員、山内光春委員、井浦政義委員、石田啓委員、
原尻敏広委員、樋口武史委員、吉田直美委員、橋本洋委員、石田英治委員、薄秀治委員、
大森睦子委員、齋藤光範委員

青谷昇教育部長

事務局 生涯学習推進課 中村由果課長、吉永ゆかりスポーツ振興係長、荒川登志子主事、
小西渚主任主事、高井恭平主事、草道宥哉主事

【欠席委員の氏名】 柴田敬子委員

【庶務担当部署名】 生涯学習推進課

【委員に配布した資料の名称】

- ・第 1 次古賀市スポーツ振興基本計画の総括(案)
- ・平成 24 年度及び平成 29 年度アンケート調査比較表
- ・スポーツ推進審議会専門部会のルール

【会議の内容】

1. 開会
2. 教育部長のあいさつ
3. 審議会成立の報告
4. 会長あいさつ
5. 議事録署名委員の指名
(会長)
・議事録署名委員については石田英治委員にお願いしたい。
6. 概要説明及び議事

(会長)

・それでは、審議に入る。まずは、第1次スポーツ振興基本計画の総括(案)事務局より説明を願う。

(事務局)

- ・総括の前に、前回の審議会で質問のあった事項について説明を行う。
- ・資料2「平成24年度及び平成29年度アンケート調査比較表」について、前提条件として前回調査における配布人数を3000人から平成29年度は1500人へ変更しており、年代の回答数にもばらつきがあるため、単純比較が難しい状況である。第2次計画策定の参考資料としての活用をしたいと考える。
- ・成人のスポーツ実施率は58.4%まで向上しており、男女の実施率についても値は向上している。
- ・平成24年度及び平成29年度の年代別の実施率の全体及び男女の比較においても、単純比較は難しい。全体の30代前半や女性の30代～50代はパーセンテージが低い。原因としては子育て、女性の社会参加等と捉えている。
- ・小学校区別実施率についても全校区で数値が向上しており、実施種目についてはウォーキングが高い数値であったことから、地域別に関係なく、健康づくりや運動の意識が高まっていると捉えている。
- ・運動やスポーツをする理由、できない理由の比較については、運動不足を感じる割合が増加しており、健康・体力づくりが減少している。
- ・実施できない理由として、大きく変化しているところはきっかけがないと答えた割合が減少しており、その他は微減となっていることから、スポーツ活動への敷居は低くなってきていると捉えている。しかし時間がないと答えている割合が依然として高く、時間に対してのアプローチが重要であると考え。
- ・無関心層について、アンケート結果から考察を行い、図式化した。グラフ縦軸がスポーツへの関心度、横軸がスポーツ実施となっている。A層がスポーツの関心も高く、スポーツ実施もしている人であり、図に示すC層、D層がA層に行動変容し、実施率向上へ向けた取組実施が重要であると考えている。またB層がA層に、A層が継続実施できるように取組を行うことも重要であると考えている。
- ・スポーツを実施できない理由を3つの間でカテゴリー分けしてみたところ、時間が35.4% 空間が24.9%、仲間が10.3%、完全無関心が16.65%であった。この結果からスポーツ未実施者のうち64%の人は何かしらのきっかけがあればスポーツ実施に結びつくと思われる。
- ・次に資料1「第1次古賀市スポーツ振興基本計画の総括(案)」について説明する。第2次計画書における第1次計画の振り返りとして文章記載を予定している。
- ・内容については、基本方針である「子どもの体力向上」「成人の実施率向上」「元気な人づくりの支援」についてそれぞれテーマごとに分類し、これまでの取組の成果や課題を記載。文章の前半に取組を、後半には課題を記載し、第2次計画での取組や方向性に繋げたいと考える。
- ・「子どもの体力向上」では、児童、生徒への取組として、こがっ子元気アップチャレンジ事業等の実施や、学校の取組、諸団体との連携等を通じ、子どもたちの運動機会の充実を図ってきた。平成29年度の全国運動能力・運動習慣等調査結果では、小学5年生は全国・県平均以上、中学2年生では下回っていることから体育授業の充実や部活動の奨励が取組課題である。
- ・幼児については、保育所や幼稚園での取組実施による運動機会の充実が図られており、今後も外遊びの啓発や親子で遊ぶことができるきっかけづくりや情報提供等についての取組につなげたい。
- ・スポーツ指導者の分野では、これまでの研修会等の取組、人材育成から人材活用や仕組みづくりの必要性、少年団設置に係るジュニアスポーツ環境の構築について記載している。
- ・「成人のスポーツ実施率向上」では、実施率が向上されている一方で、子育て世代や働く世代への取組の課題、ニーズやターゲットに沿った取組の検討が必要である。
- ・ウォーキング事業は、市民ウォーキング事業と地域ウォーキング事業を柱とし、ウォーキング活動の啓発や人材育成を実施してきた。しかし、地域での人材活用まではいたっていないことから、仕組みづくりが課題である。
- ・障がい者スポーツでは、スポーツ推進委員が中心となり、教室や体験会の開催、学校の授業の支援等を実施してきた。今後も継続して取組を実施し、障がいの有無に関わらず、スポーツを楽しむ環境構築が重要であると捉えている。
- ・競技スポーツ分野では、体育協会を中心に競技大会の開催や県民体育大会出場の支援等により競技力の向上が図られてきている。今後は福岡県タレント発掘事業等の啓発を実施し、ジュニア世代の子どもたちも積極的にスポーツにチャレンジできるような環境構築が必要である。また東京オリンピック・パラリンピックについてもスポーツを「する」「みる」「ささえる」の視点から地域づくりやまちづくりへの展開をめざしたい。
- ・総合型地域スポーツクラブは、設立までは至っていないのが現状であり、今後は地域づくりにつながる総合型地域スポーツクラブについての検討が必要である。
- ・「元気なひとづくりの支援」では、環境の整備と情報提供について記載している。
- ・環境整備については、体育施設の開放や施設予約システムを導入したが利用率等に課題あることや新たに

施設を使いたいと思った人が使いにくい現状があること、民間所有のスポーツ施設の開放には至っていないことを課題としている。

- ・情報提供については、ターゲットの明確化や情報の整理、計画的かつ効果的な情報提供が必要である。ソフト、ハード両面でのスポーツ環境の充実をめざし、関係団体との連携を通じ、スポーツ施設の在り方についての検討や取組が必要である。

- ・事前にお送りした資料「取組についての現状と課題」について説明をする。取組内容、第2次計画策定における担当部会、取組分野、現状と課題、参考資料及び番号、今後の方向性について事務局案を左から順に記載している。総括とも重複する箇所があるが、部会協議でも参考資料として活用いただきたい。

- ・方向性について空欄箇所は、今後審議会や部会で協議できればと考えている。

- ・総括とも重なる箇所が多いため、特徴的な部分を説明する。

- ・【子どもの体力向上】分野では、「3子どもの体力向上に向けたスポーツ関連団体、学校や地域との連携（拡充）」において、現状、課題は記載のとおり、方向性として現在の元気アップチャレンジでの形態は今年度をもって終了し、今後の子どもたちへのアプローチを検討する。また体力テストについてもスポーツ推進委員だけでなく、PTCAの活用等協力体制を図ることを目標としたい。学校部活動と社会体育の連携についても今後検討が必要となってくると予測される。

- ・「5スポーツ人材バンク制度の構築（継続）」については、現在登録制度の運用や人材の活用の方向性などの協議はできていない。今後の方向性については、審議会、地域部会でも協議願いたい。

- ・【成人のスポーツ実施率向上】分野では、「1市民健康スポーツの日の実施（拡充）」については、これまで試行錯誤を行い、健康福祉まつりとの合同開催等を実施してきたが、参加者数は伸び悩んでいる。今後も一般参加者が来場しやすい取組を検討したい。

- ・「2総合型地域スポーツクラブの調査研究（継続）」では、「千鳥校区」、「古賀西校区」が設立できなかった理由、現状等を記載。今後地域づくりに結びつくようなスポーツクラブへの検討が必要となる。

- ・【元気なひとづくりの支援】では、「3市内スポーツ施設等の利用方法等の改善（継続）」において、公共施設予約システムの導入や都市公園との利用方法の協議等の実施を記載している。今後も受付窓口の一本化等を含め、継続的に協議する必要があると考えている。以上です。

(会長)

- ・それでは、平成24年度及び平成29年度アンケート調査比較や第1次古賀市スポーツ振興基本計画の総括(案)などについて質問・意見があればお願いします。

(委員)

- ・年齢によって大きく違ってくると思う。子どもは特に3歳～5歳と年齢によって全然違う。成人も70代80代と30代とは考え方も条件も全く違っている。無関心層についても1つの課題かもしれないが、まずは年代によってスポーツができない理由が違うと思う。

- ・年齢、性別を分けたり、条件(子育て世代や会社員)など全部考慮したり考えないと、一緒に考えるのは難しいのではないかな。

- ・時間・空間・仲間があればスポーツ実施へと結びつくと言った説明があったが、これは逆だと思う。何かを始めれば時間・空間・仲間ができると思う。「何かを始めるきっかけ」が年齢で違う。

- ・課題を年齢別に把握しておかないと、現実的な計画にならないのではないかな。

(会長)

- ・委員の意見も踏まえて、これから各部会でより深く審議して欲しい。よろしくお願いします。